

## 鎌倉と私のボランティア活動

神田 栄子

私がこの魅力ある町に住み始めて早くも 20 年になります。それまでは長年東京に住んでいましたが、幸運にも義理の祖父が余生を送ったこの鎌倉に居を構えるというチャンスに恵まれたのです。

私はカナダの修道院が経営するカトリックスクールに通っていました。そこで初めてフランス語と出会い、その響きの美しさにすっかり魅了され、フランス語を真剣に学ぼうと決心しました。

そして数年後、フランス語とフランス文化を学ぶためフランスのディジョン大学に 2 年間留学し、私の最初の夢を叶えました。

残念なことに結婚後は家庭の事情からフランス語を使う機会に恵まれませんでした。忘れてしまわないように、時間を見つけては少しずつ、フランス語の勉強を続けてきました。

鎌倉に住んでみて、このような、歴史だけでなく自然の魅力にもあふれた町に住めることがどんなに幸せであるかに気づきました。

家の周りを散歩すると、あちこちに美しい緑の木々に囲まれた神社仏閣があります。外国人旅行者もよく見かけ、フランス語も聞こえてきます。その時、もし私のフランス語がこの鎌倉の素晴らしさを伝えるために役立てたらどんなに素晴らしいだろうと思いました。

今から 3 年半ほど前、鎌倉の広報誌に、「鎌倉ウエルカムガイド協会」が、外国語のボランティアガイドを募集しています、という記事が目に入りました。あ、これこそ私が捜していたものだ、とすぐに選考に応募しました。

英語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、中国語、韓国語の未来のガイドが約 20 人余り揃い、ここにこれだけの言語を駆使できる人がいる事に驚くと同時に、バラエティあふれる鎌倉の魅力を知ってもらうために、鎌倉はそれだけの価値がある町なのだと思います。

それから私たちはガイド養成教育を受けました。週 1 日、3 ヶ月間、午前は歴史、宗教、仏

像などの講義、午後は実際に神社仏閣の見学です。

もちろん私はそこで多くのことを学び、そして学べば学ぶほどに鎌倉の歴史的価値、素晴らしさを痛感しました。

私は、鎌倉には 100 以上もの神社仏閣があり、日本で最初の禅寺は建長寺だった、ということも知りませんでした。また、奈良の大仏について 2 番目に大きい鎌倉の露座の大仏は鑄造当時の姿を残しているのに対し、奈良の大仏は火災で損傷し 17 世紀に 2 度目の改鑄をされているということも知りませんでした。つまり私達の大仏は 750 歳だけれど、奈良の大仏はまだ 320 歳なのです。

日本で一番の美男といわれている大仏様の美しい顔を眺めていると、外国からの観光客の皆さんに説明することによって、この感動を共有することができたらどんなに素晴らしいだろう、と思わずにいられませんでした。

私が案内したいと思う場所はこのほかにもたくさんあります。

まず、将軍の守護神で勝利の神を祭っている鶴岡八幡宮です。ここが、有名な静御前の舞い、甥っ子による 3 代将軍の血なまぐさい暗殺など、歴史上重要な出来事の舞台となったからです。

そして、金色に輝く木彫りの十一面観音が安置されている長谷寺、西方浄土を象徴している美しい庭には池のほとりに四季を通して色とりどりの花が咲いています。

2000 本の孟宗竹の庭で有名な報国寺、ここの竹林の静けさが私は大好きです。

また、銭洗い弁財天は、蛇の化身宇賀福神を祭る洞窟内に湧き出る清水でお金を洗うと何倍にもなって帰ってくるという言い伝えがあります。誰でも億万長者になるチャンスがあるのです。

いくつかの名所を挙げてみましたが、それらはほんの一部に過ぎません。その上、鎌倉には名所旧跡だけではなく、素晴らしい自然もあります。駅から 30 分ほど歩くと、杉や松に覆われた小高い山に行くこともでき、ハイキングも楽しめます。また同様に、駅から 1 駅ほどの海辺の砂浜で、磯の香を胸いっぱい吸い込むこともできるのです。夏には大勢の海水浴客でにぎわいます。

私は自然と歴史とが織り成す、鎌倉のこの心地よい雰囲気と調和が大好きなのです。

昨年の大地震によって起こった原発事故の後、外国人観光客の姿はほとんど消えてしまいました。幸い今年になるとその数は明らかに増えてきました。しかしながら、私たちのボランティアガイドのことを知っている人は少なく、インターネットを通してのガイドの申し込みもまだまだ多いとはいえません。そこで、この6月から「毎週金曜の多言語フリーガイドサービス」という新しい試みを始めました。毎週金曜、都合のつく仲間のボランティアが鎌倉駅の前で「フリーガイドサービス」というプラカードを持って、外国人観光客を迎えるのです。観光客の中にはこれに目を留めて参加する人も結構いて、参加してくれたゲスト達は、みんな揃って大変満足してくださり、まさにそれを目指していた私たちの喜びもひとしおです。

最後に、これからもより多くの観光客が私たちのボランティア活動のことを知ってくれること、そしてフランス語だけでなく私の仲間たちの多言語のガイド活動によって、多くの外国人観光客に、この鎌倉の美しさと魅力を発見するお手伝いができることを切に願いつつ、私のスピーチを終わらせていただきます。